

# 平成23年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	宮崎県		市町村類型	II-1		指定団体等の指定状況		区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)								
								歳入総額	27,346,989	28,116,295	実質収支比率	4.4	4.2										
市町村名	日南市		地方交付税種地	1-2		財政健全化等	×	歳入総額	26,554,894	27,242,794	経常収支比率	95.6	92.0	95.6	92.0								
																財源超過	×	歳入歳出差引	792,095	873,501	(※1)	(101.8)	(99.8)
																首都	×	翌年度に繰越すべき財源	70,477	169,866	標準財政規模	16,398,578	16,728,248
																近畿	×	実質収支	721,618	703,635	財政力指数	0.36	0.37
																中部	×	単年度収支	17,983	283,104	公債費負担比率	19.6	18.8
人口	22年国調(人)	57,689	産業構造(※5)		過疎	○	積立金	352,326	775,803	健全化判断比率	-	-	-	-									
	17年国調(人)	60,914			山振	○	繰上償還金	94	-	実質赤字比率	-	-	-	-									
	増減率(%)	-5.3			区分	22年国調	17年国調	低開発	○	積立金取崩し額	-	350,000	連結実質赤字比率	-	-	-							
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	58,020	第1次	3,454	4,078	指数表選定	○	実質単年度収支	370,403	708,907	実質公債費比率	14.7	15.7										
	23.03.31(人)	58,655		5,675	6,566	基準財政収入額	4,675,753	4,602,093	将来負担比率	131.3	135.0												
	増減率(%)	-1.1		22.2	23.5	基準財政需要額	12,859,860	13,027,897	資金不足比率(※4)	-	-												
面積(km <sup>2</sup> )	536.12		第3次	16,460	17,173	標準税収収入額等	5,988,550	5,866,155	地方債現在高 うち公的資金 債務負担行為額(支出予定額) 収益事業収入 土地開発基金現在高 積立金現在高 財政調整基金 減債基金 その他特定目的基金	19,254,787 20,141,264 32,139,121 33,249,641 24,306,080 24,926,604 899,020 1,212,080 - 769,664 769,664 1,987,886 1,635,560 99,557 99,478 1,874,341 1,892,143													
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	108			64.3	61.5	経常経費充当一般財源等	16,122,683	16,005,485															
世帯数(世帯)	23,228			職員数の状況			歳入一般財源等	19,254,787			20,141,264												
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高			32,139,121	33,249,641											
	市区町村長	1	7,830	一般職員	589	1,926,030	3,270	うち公的資金			24,306,080	24,926,604											
	副市区町村長	2	6,380	うち消防職員	80	241,120	3,014	債務負担行為額(支出予定額)			899,020	1,212,080											
	教育長	1	5,450	うち技能労務職員	55	188,430	3,426	収益事業収入			-	-											
	議会議長	1	3,780	教育公務員	4	15,484	3,871	土地開発基金現在高			769,664	769,664											
	議会副議長	1	3,250	臨時職員	-	-	-	積立金現在高			99,557	99,478											
	議会議員	28	3,110	合計	593	1,941,514	3,274	財政調整基金			1,987,886	1,635,560											
				ラスパイレス指数(※6)	106.2		(98.2)		減債基金	99,557	99,478												
							その他特定目的基金	1,874,341	1,892,143														
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧				(※3)									
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名												
(1)	一般会計	(2)	日南市国民健康保険特別会計	(5)	日南市水道事業会計	(9)	日南市簡易水道特別会計	(13)	宮崎県自治会館管理組合	(17)	日南市土地開発公社												
		(3)	日南市介護保険特別会計	(6)	日南市公共下水道事業会計	(10)	日南市大島簡易水道特別会計	(14)	日南申広域不燃物処理組合	(18)	宮崎県南地域新地場産業創出センター												
		(4)	日南市後期高齢者医療特別会計	(7)	日南市特定環境保全公共下水道事業会計	(11)	日南市農業集落排水特別会計	(15)	宮崎県後期高齢者医療広域連合(普通会計)	(19)	ドリームランドはまゆう												
				(8)	日南市病院事業会計	(12)	日南市漁業集落排水特別会計	(16)	宮崎県後期高齢者医療広域連合(事業会計)	(20)	北郷町温泉観光協会												
										(21)	宮崎建設労働者研修福祉センター												

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: ラスパイレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	5,420,770	19.8	5,420,770	34.2	普通税	5,410,801	99.8	334,797
地方譲与税	291,121	1.1	291,121	1.8	法定普通税	5,410,801	99.8	334,797
利子割交付金	11,526	0.0	11,526	0.1	市町村民税	2,077,218	38.3	26,674
配当割交付金	8,656	0.0	8,656	0.1	個人均等割	73,583	1.4	-
株式等譲渡所得割交付金	1,444	0.0	1,444	0.0	所得割	1,703,771	31.4	-
地方消費税交付金	528,618	1.9	528,618	3.3	法人均等割	134,247	2.5	-
ゴルフ場利用税交付金	12,991	0.0	12,991	0.1	法人税割	165,617	3.1	26,674
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,819,144	52.0	308,123
自動車取得税交付金	37,757	0.1	37,757	0.2	うち純固定資産税	2,743,996	50.6	308,123
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	139,664	2.6	-
地方特例交付金	71,864	0.3	71,864	0.5	市町村たばこ税	374,775	6.9	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	41,276	0.2	41,276	0.3	釧産税	-	-	-
減収補填特例交付金	30,588	0.1	30,588	0.2	特別土地保有税	-	-	-
地方交付税	10,607,937	38.8	9,373,213	59.2	法定外普通税	-	-	-
普通交付税	9,373,213	34.3	9,373,213	59.2	目的税	9,969	0.2	-
特別交付税	1,234,722	4.5	-	-	法定目的税	9,969	0.2	-
震災復興特別交付税	2	0.0	-	-	入湯税	9,969	0.2	-
(一般財源計)	16,992,684	62.1	15,757,960	99.5	事業所税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	11,414	0.0	11,414	0.1	都市計画税	-	-	-
分担金・負担金	212,764	0.8	-	-	水利地益税等	-	-	-
使用料	472,389	1.7	13,296	0.1	法定外目的税	-	-	-
手数料	152,060	0.6	-	-	旧法による税	-	-	-
国庫支出金	3,219,385	11.8	-	-	合計	5,420,770	100.0	334,797
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-				
都道府県支出金	2,209,983	8.1	-	-				
財産収入	102,488	0.4	49,254	0.3				
寄附金	11,570	0.0	-	-				
繰入金	59,916	0.2	-	-				
繰越金	873,501	3.2	-	-				
諸収入	746,620	2.7	635	0.0				
地方債	2,282,215	8.3	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,036,815	3.8	-	-				
歳入合計	27,346,989	100.0	15,832,559	100.0				

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	97.6	91.6	97.5	91.0
(%)	年	97.3	90.7	97.3	90.2
		97.5	90.9	97.3	90.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,499,343	実質収支	499,396
下水道	697,611	再差引収支	71,429
病院	390,000	加入世帯数(世帯)	10,043
簡易水道	20,855	被保険者数(人)	16,652
上水道	11,199	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	566,610	1人当り	86
その他	1,813,068		131
			330

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	341,775	1.3	-	319,775	
総務費	3,332,000	12.5	199,904	2,905,884	
民生費	8,375,653	31.5	53,736	4,585,996	
衛生費	1,966,756	7.4	115,952	1,707,293	
労働費	408,626	1.5	-	5,968	
農林水産業費	1,207,685	4.5	446,026	682,165	
商工費	698,519	2.6	4,509	324,407	
土木費	2,988,621	11.3	1,709,895	1,433,718	
消防費	1,046,745	3.9	150,933	942,054	
教育費	2,238,115	8.4	291,116	1,768,758	
災害復旧費	34,022	0.1	-	12,666	
公債費	3,916,377	14.7	-	3,774,008	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	26,554,894	100.0	2,972,071	18,462,692	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	14,272,113	53.7	10,549,621	10,252,731	60.8
人件費	5,316,282	20.0	5,020,140	4,723,494	28.0
うち職員給	3,424,391	12.9	3,248,930	-	-
扶助費	5,039,454	19.0	1,755,473	1,755,323	10.4
公債費	3,916,377	14.7	3,774,008	3,773,914	22.4
元利償還金	3,916,377	14.7	3,774,008	3,773,914	22.4
内 うち元金	3,392,735	12.8	3,250,366	3,250,272	19.3
訳 うち利子	523,642	2.0	523,642	523,642	3.1
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	9,276,688	34.9	7,105,377	5,869,952	34.8
物件費	3,451,403	13.0	2,442,046	2,082,114	12.3
維持補修費	312,308	1.2	207,685	207,685	1.2
補助費等	2,264,439	8.5	2,010,807	1,637,403	9.7
うち一部事務組合負担金	219,025	0.8	219,025	206,132	1.2
繰出金	2,445,324	9.2	2,082,816	1,942,750	11.5
積立金	385,914	1.5	362,023	-	-
投資・出資金・貸付金	417,300	1.6	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,006,093	11.3	807,694	-	-
うち人件費	46,692	0.2	40,640	-	-
内 普通建設事業費	2,972,071	11.2	795,028	-	-
うち補助	1,288,365	4.9	46,635	-	-
うち単独	1,557,109	5.9	737,679	-	-
災害復旧事業費	34,022	0.1	12,666	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,554,894	100.0	18,462,692	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

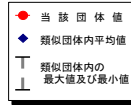
平成23年度 宮崎県日南市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	27,359	26,567	792	722	60	32,139	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	58,020	人(H24.3.31現在)	実収	赤字比率	-	%
面積	536.12	km <sup>2</sup>	実支	赤字比率	-	%
歳入総額	27,346,989	千円	実債	公債費比率	14.7	%
歳出総額	26,554,894	千円	実負	将来負担比率	131.3	%
実収支差	791,095	千円	市町村	類型	H19	Ⅰ-1
標準財政規模	16,398,578	千円	(年度)	H22	Ⅱ-1	
地方債現在高	32,139,121	千円		H23	Ⅱ-1	

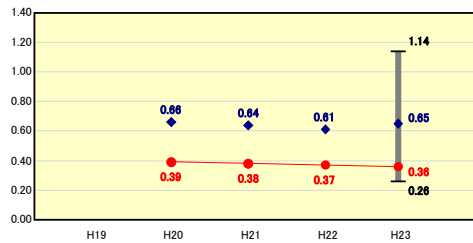


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力

財政力指数 [0.36]

類似団体内順位 179/195 全国平均 0.51 宮崎県平均 0.34

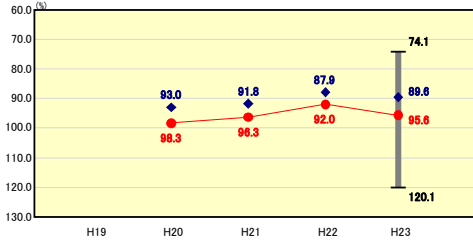


**財政力指数の分析欄**  
 人口減少や少子高齢化に歯止めがかららない状況と、依然として厳しい経済状況により、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。そのため、退職者不補充等による職員数の削減等の行財政改革を行い、地方税の徴収業務の強化に取り組む。

#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [95.6%]

類似団体内順位 174/195 全国平均 90.3 宮崎県平均 88.0

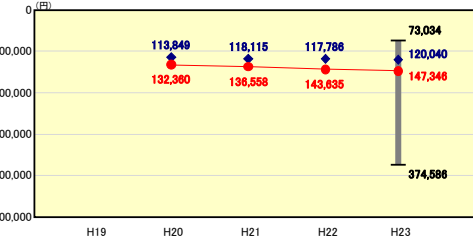


**経常収支比率の分析欄**  
 類似団体平均を上回っており、その主な要因は障害者自立支援給付費等による扶助費及び国民健康保険特別会計・介護保険特別会計等への繰出金の増である。財政構造の弾力性回復のため、事務事業の見直しなど行財政改革の着実な実行により、収支を是れとした歳入財源の確保と、経常経費の抑制に努めていく。

#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [147,346円]

類似団体内順位 165/195 全国平均 119,477 宮崎県平均 119,845

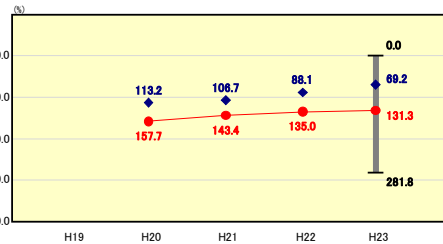


**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。これは、現在も合併後の行政組織を整理している過程にあり、かつ広い行政区域に対応すべく、支所・出張所を多数配置しなくてはならない状況にもあるためである。  
 今後も、合併10年後の職員数を類似団体の平均にするため、職員数や退職者の状況及び新規の行政需要への対応を勘案しながら、人件費の削減に努める。

#### 将来負担の状況

将来負担比率 [131.3%]

類似団体内順位 164/195 全国平均 69.2 宮崎県平均 65.9

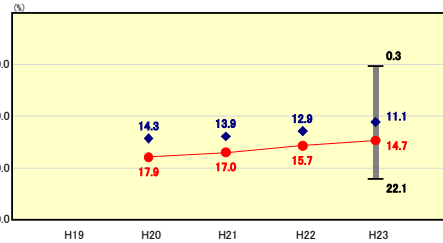


**将来負担比率の分析欄**  
 地方債残高の減少により前年よりも3.7ポイント改善したものの、類似団体平均を大きく上回っている。今後の将来負担額については、市債発行額及び公営企業会計に対する繰出しを抑制するとともに、職員数及び退職者の状況を見ながら職員定数の適正化に努め、退職手当負担見込額の縮減を図っていく。

#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.7%]

類似団体内順位 160/195 全国平均 9.9 宮崎県平均 11.5

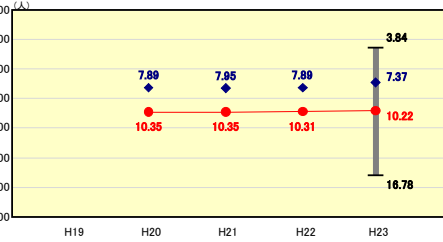


**実質公債費比率の分析欄**  
 前年よりも1.0ポイント改善したものの、依然として類似団体平均を上回っている。今後も公営企業会計への繰出し抑制を図るとともに、計画的な市債発行による公債費抑制を行い、実質公債費比率18%未満を堅持する。

#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [10.22人]

類似団体内順位 178/195 全国平均 7.17 宮崎県平均 7.88

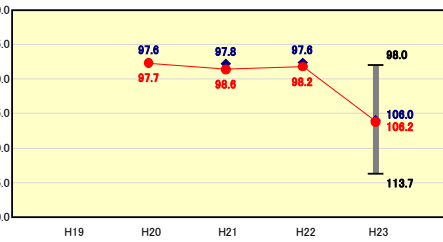


**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 前年より0.09人改善したものの、現在も合併後の行政組織を整理している過程にあり、かつ広い行政区域に対応すべく、支所・出張所を多数配置しなくてはならない状況にもあることから、人口千人当たりの職員数は依然として類似団体を上回っている。  
 今後も、職員数や退職者の状況及び新規の行政需要への対応を勘案しながら、合併10年後の職員数を類似団体の平均にする。

#### 給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [106.2]

類似団体内順位 103/195 全国市平均 108.9 全国町村平均 103.3



**ラスパイレズ指数の分析欄**  
 人事院勧告及び県人事委員会勧告を尊重しながら、引き続き適正な給与水準を保つとともに、職務・職責・能力をより重視した給与制度への転換を検討する。  
 なお、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の参考値は98.2となる。

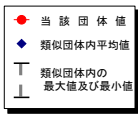
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

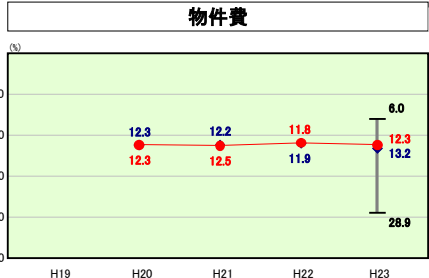
宮崎県日南市

## 経常収支比率の分析

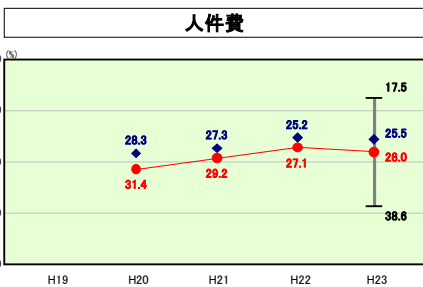
人口	58,020 人 (H24.3.31現在)	実収支比率	- %
面積	536.12 km <sup>2</sup>	実赤字比率	- %
人口総額	27,346,989 千円	実公債費比率	14.7 %
人口総額	26,554,894 千円	実負担比率	131.3 %
人口総額	721,618 千円		
人口総額	16,398,578 千円		
人口総額	32,139,121 千円		



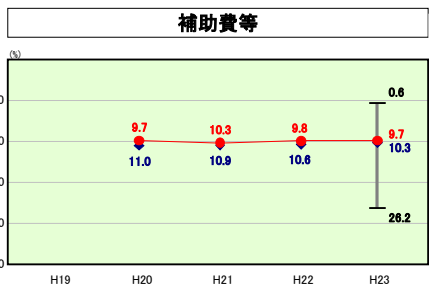
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



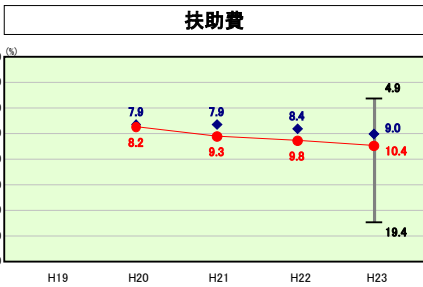
**物件費の分析欄**  
類似団体平均をわずかに下回るものの、経常収支比率が高い状況にあるため、事務事業の見直しによる庁舎管理等の節減や事務管理経費の歳出抑制を図ることで更なる削減に努めていく。また、地域との協働の観点からも事業の見直しを行い、事務の効率化と地域力の向上を図る。



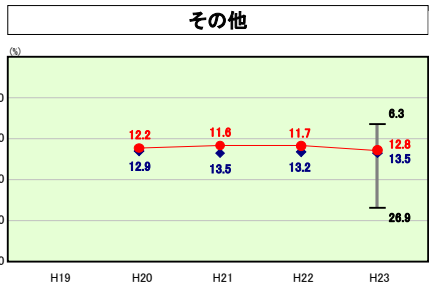
**人件費の分析欄**  
人件費に係る経常収支比率は、28.0%と類似団体平均と比べて高い水準にある。これは、現在も合併後の行政組織を整理している過程にあり、かつ合併後の広い行政区域に対応するため、支所・出張所を多く配置し続けているため、職員数が類似団体平均と比較して多いことが主な要因である。  
今後も、合併10年後の職員数を類似団体の平均にするため、職員数、退職者の状況や新規の行政需要への対応を勘案しながら、人件費の削減に努める。



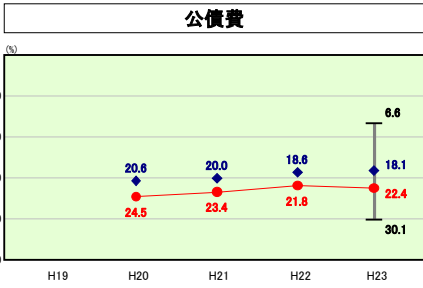
**補助費等の分析欄**  
類似団体平均ほぼ同値となっている。しかしながら、経常収支比率が高い状況にあるため、事業費に対する市補助・交付金などの必要性、妥当性などを考慮し、補助・交付金等の見直しを行っている。



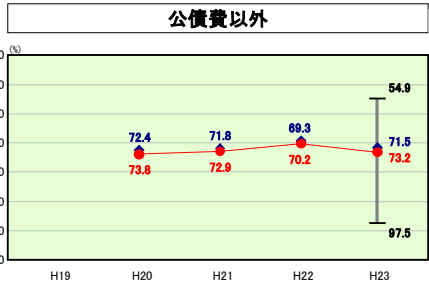
**扶助費の分析欄**  
扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にある。本年度の要因としては、障害者自立支援給付費の増加や例年増加傾向にある生活保護費が挙げられる。



**その他の分析欄**  
類似団体平均とほぼ同値となっている。その他に含まれるものは維持補修費と繰入金となっており、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等への繰入金が増加が、経常収支比率全体の増加の要因となっているため、改善に向けて、経費節減や運営の健全化に努める必要がある。



**公債費の分析欄**  
公債費が歳出を圧迫し、経常収支比率を大きく上げている要因となっている。今後も投資事業の見直しや市債発行額の抑制に努め、公債費の削減を図っていく。



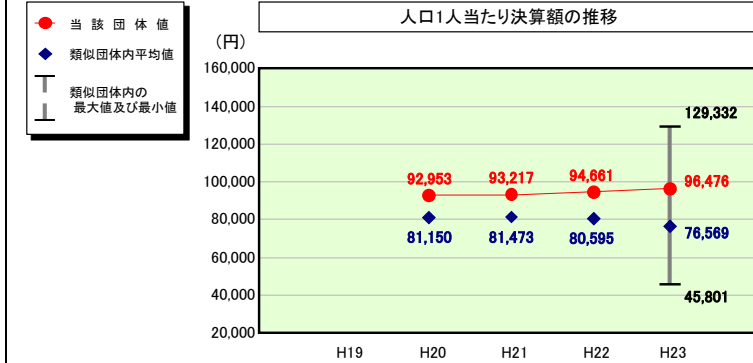
**公債費以外の分析欄**  
類似団体平均と比較すると、公債費以外に係る経常収支比率は高くなっている。これは、人件費や扶助費の経常収支比率が高い状況にあるためである。扶助費については今後も上昇していくと予想されるため、それ以外の経費において、人件費の削減、補助交付金等の見直し、事務の効率化等により、歳出抑制に努めていく必要がある。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

宮崎県日南市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



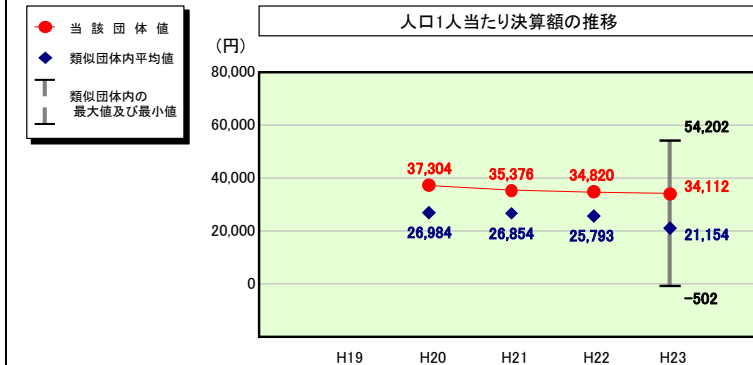
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	5,316,282	91,628	69,188	32.4
賃金(物件費)	418,267	7,209	4,522	59.4
一部事務組合負担金(補助費等)	30,202	521	5,753	▲90.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	103,378	1,782	926	92.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	260,421	4,488	3,026	48.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	46,692	805	1,451	▲44.5
▲退職金	▲577,693	▲9,957	▲8,301	19.9
合計	5,597,549	96,476	76,569	26.0

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.22	7.37	2.85
ラスパイレス指数	106.2	106.0	0.2

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

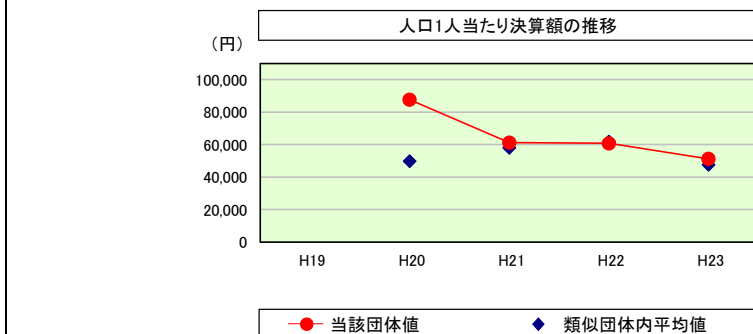


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,916,283	67,499	44,862	50.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	16	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	44	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	660,777	11,389	12,261	▲7.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	126,168	2,175	2,838	▲23.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	23,617	407	1,470	▲72.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	15	-
▲特定財源の額	▲142,369	▲2,454	▲5,472	▲55.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲2,605,315	▲44,904	▲34,880	28.7
合計	1,979,161	34,112	21,154	61.3

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

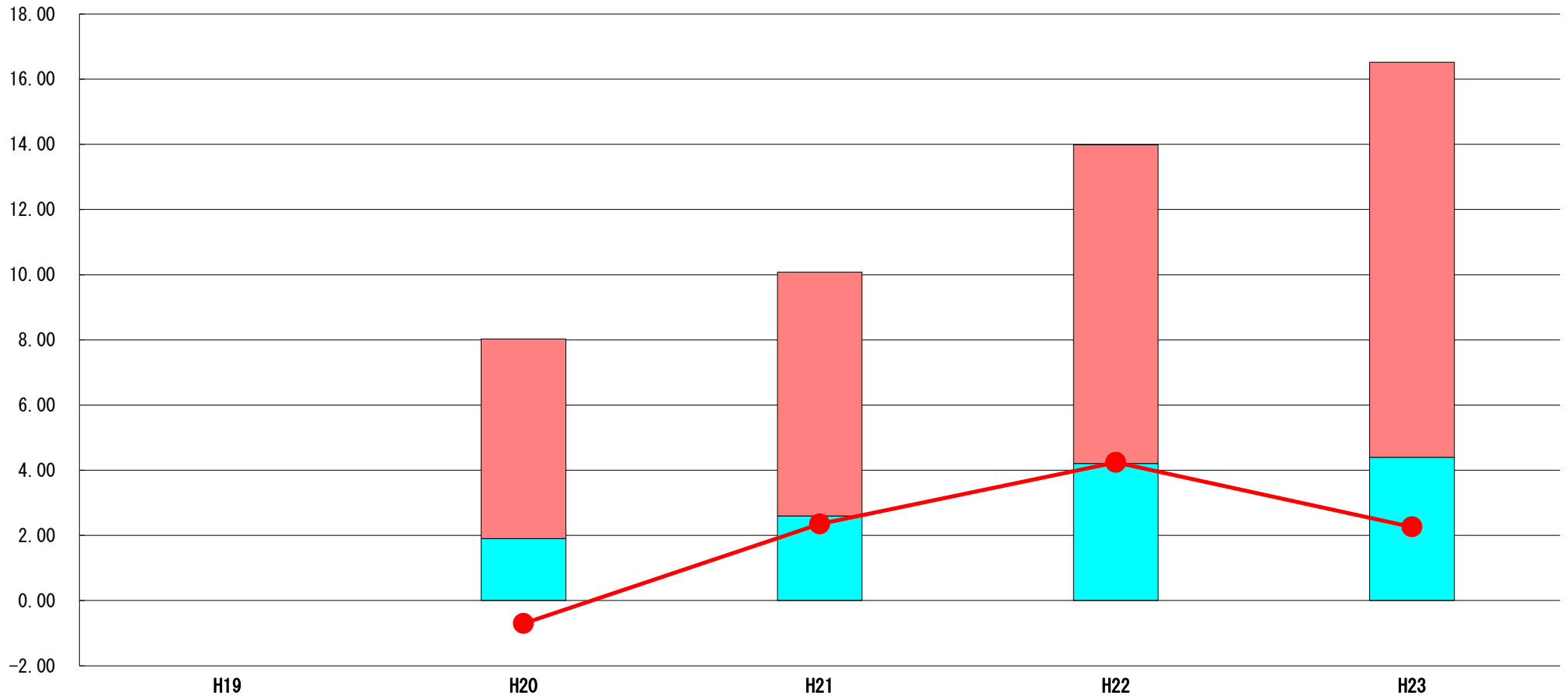
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	-	-	-	-	-	-
H20	5,249,086	87,726	-	49,774	-	-
H21	3,466,903	57,941	-	26,739	-	-
H22	3,636,350	61,316	▲30.1	58,009	16.5	▲46.6
H23	1,799,817	30,348	▲47.6	32,190	20.4	▲68.0
H22	3,562,343	60,734	▲0.9	61,882	6.7	▲7.6
H23	2,264,158	38,601	27.2	32,175	0.0	27.2
H23	2,972,071	51,225	▲15.7	47,569	▲23.1	7.4
過去5年間平均	1,557,109	26,837	▲30.5	26,255	▲18.4	▲12.1
うち単独分	3,854,963	65,250	▲15.6	54,309	0.0	▲15.6
うち単独分	2,271,997	38,432	▲17.0	29,340	0.7	▲17.7

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成23年度

宮崎県日南市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		-	6.13	7.48	9.78	12.12
 実質収支額		-	1.90	2.60	4.21	4.40
 実質単年度収支		-	▲ 0.70	2.35	4.24	2.26

## 分析欄

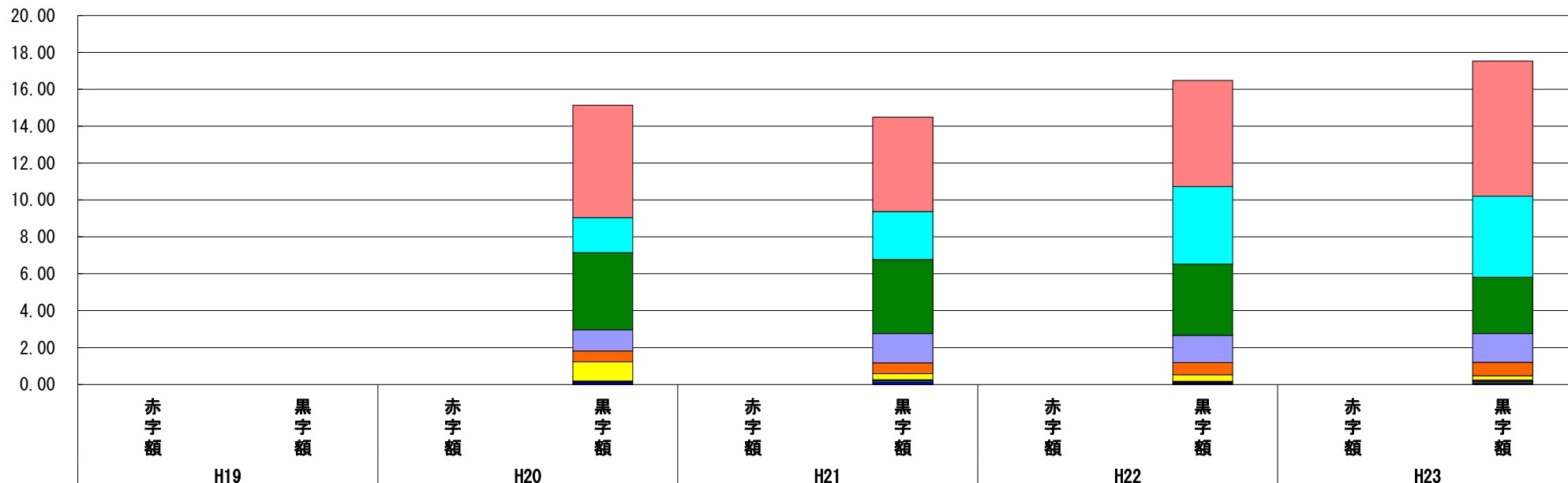
財政調整基金残高については約3.5億円増加し、普通交付税及び臨時財政対策債はともに減少したため、標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合は2.34ポイント増加した。  
 実質収支額については、形式収支が大きく減少したものの、翌年度へ繰り越すべき財源が減少したことにより前年同規模の額となった。  
 実質単年度収支については、財政調整基金残高が増加したものの、実質収支額が前年と同規模で増加額が少なかったため、標準財政規模に占める割合は減少した。

## (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

宮崎県日南市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	標準財政規模比（%）				
		H19	H20	H21	H22	H23
日南市水道事業会計		-	6.10	5.13	5.75	7.33
一般会計		-	1.90	2.60	4.21	4.40
日南市国民健康保険特別会計		-	4.18	4.01	3.85	3.05
日南市病院事業会計		-	1.15	1.59	1.49	1.56
日南市公共下水道事業会計		-	0.58	0.59	0.65	0.72
日南市介護保険特別会計		-	1.04	0.33	0.36	0.24
日南市特定環境保全公共下水道事業会計		-	0.04	0.05	0.06	0.09
日南市簡易水道特別会計		-	0.05	0.07	0.05	0.07
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.10	0.13	0.06	0.08

### 分析欄

標準財政規模に占める黒字の割合は、水道事業会計の占める割合が最も大きく、次いで一般会計、国民健康保険特別会計の順となっている。

前年度と比較すると、水道事業会計が1.58%増加している。その主な要因は、料金改定にともなう現金預金の増及び未払金の減である。それ以外の会計については、例年と同程度の構成比率で推移している。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

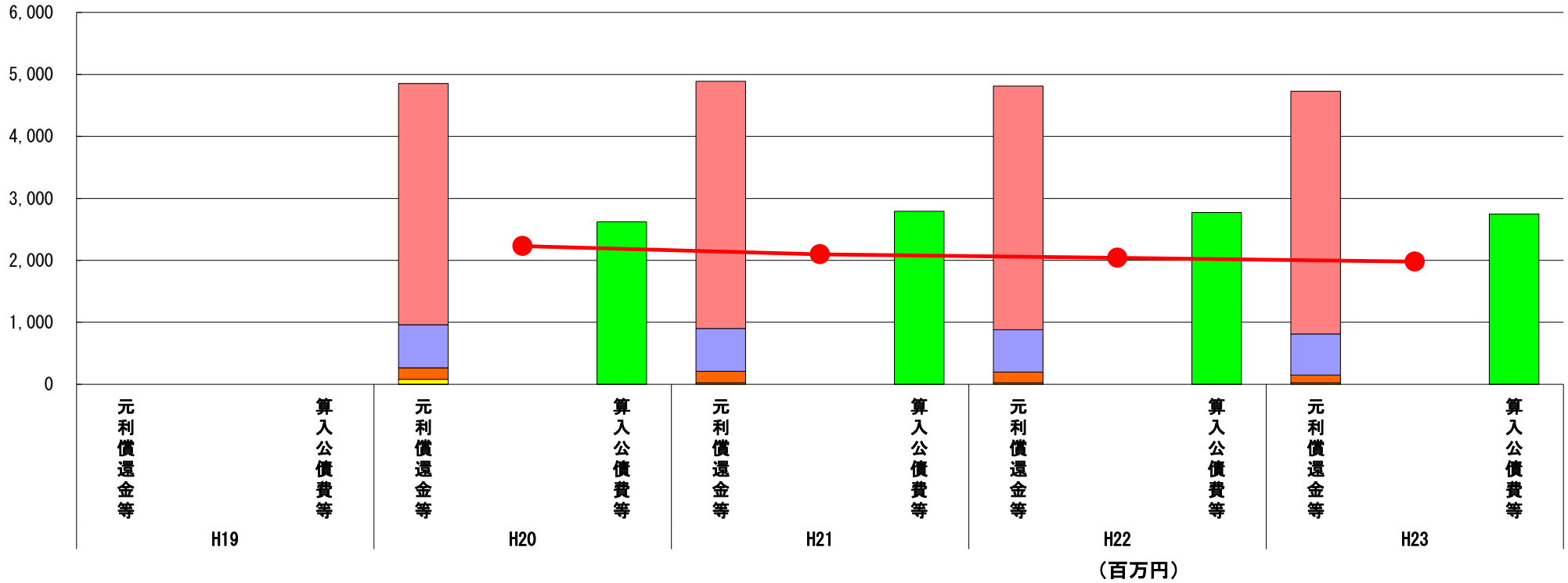


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

宮崎県日南市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	3,892	3,993	3,935	3,916	
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	695	691	681	661	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	189	183	175	126	
	債務負担行為に基づく支出額	-	78	25	23	24	
	一時借入金の利子	-	1	-	-	-	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	2,624	2,793	2,772	2,747	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	2,231	2,099	2,042	1,980	

**分析欄**

実質公債費比率における分子の構造は、元利償還金の占める額が最も大きく、次いで公営企業債の元利償還金に対する負担金等の順になっている。

H23年度の実質公債費比率はH22年度の15.7%から1.0%減少し、14.7%に改善した。その主な要因は元利償還金の減額である。

今後も計画的な市債発行による公債費抑制を行い、実質公債費比率18%未満を堅持する。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

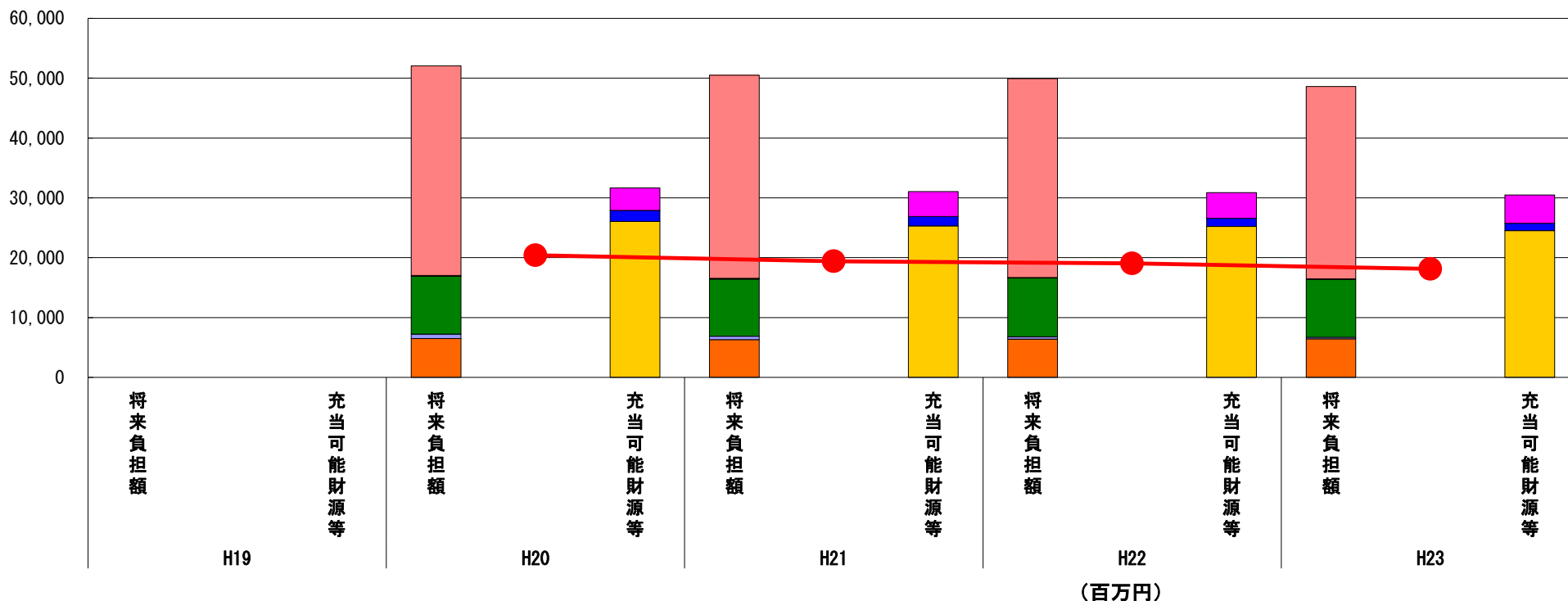
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

宮崎県日南市

(百万円)



分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		-	35,029	33,928	33,250	32,139
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	121	98	93	76
	公営企業債等繰入見込額		-	9,687	9,544	9,764	9,661
	組合等負担等見込額		-	767	596	424	302
	退職手当負担見込額		-	6,471	6,307	6,391	6,425
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		-	3,780	4,171	4,297	4,716
	充当可能特定歳入		-	1,822	1,558	1,362	1,267
	基準財政需要額算入見込額		-	26,054	25,327	25,225	24,505
(A) - (B)	将来負担比率の分子		-	20,418	19,416	19,037	18,116

**分析欄**

将来負担比率の分子における構造は、一般会計等に係る地方債の現在高の占める額が最も大きく、次いで公営企業債などの繰入見込額、退職手当負担見込額の順となっている。

H23年度の将来負担比率は、H22年度の135.0%から3.7%減少し、131.3%に改善した。その主な要因は、一般会計等に係る地方債の現在高が1,111百万円減額したことによるもので、財政健全化を図るため、元金償還額を下回るよう、地方債発行額を抑制した結果によるものである。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。